

科目名称: 幼児教育実習 I					
担当者名: 斎藤修啓、枝村美夏、岡部智子、木谷葉子、永坂晃子、松下高信、三谷靖子、川邊音生					
科目群(区分)	開講予定時期	授業形態	必修・選択	単位数	卒業認定・学位授与の方針との関連
専門展開	3年後期	実習	選択	2	子ども福祉学科(4)
アクティブ・ラーニング実施の有無	実施無し		ナンバリング		24200381
授業概要: 目的意識を常に意識しながら、幼稚園における指導と援助の実際を体験し、保育技術を高めるとともに、一人の人として如何に「人」と関わるか、という保育者としての適正を探る。					
到達目標: 卓越した専門の保育技術を持つ幼児教育者を目指し、机上の学問だけでなく、実際の子どもと関わることから、理論と実践の結びつきを図る。また、子どもと生活を共にすることで、一日の流れと保育者の職務内容を理解する。					
授業計画			準備学習とその所要時間(分)		
<p>時期: 3年次後期に実施する。</p> <p>期間: 幼稚園にて、12日間の連続した実習を実施する。但し、実習園の都合により連続できないこともあり得る</p> <p>条件: ①幼児教育実習指導を受講していること。 ②実習園でのオリエンテーションに参加する。 ③事前体験学習を行い、実習園の行事、対象年齢、実習計画と実習生の実習計画との整合性を図る。 ④実習園の教育方針に従い、適正な実習に努める。 ⑤自己の課題を明確にし、課題に沿った実習計画を立てる。 ⑥養成校の教員による巡回指導を受ける。 ⑦実習終了後、</p>			<p>①幼稚園における保育の概要を学ぶ。 ②保育実習からの自己課題を明確にする。 ③幼児教育実習指導を受講し、課題に適切に取り組む。</p>		
履修に必要な予備知識や技能: 幼児教育実習指導の受講。自己課題の明確化、実習計画の綿密な立案。					
課題に対してのフィードバック: 事後指導を通して、実習での課題に関するフィードバックを行う。					
評価方法・基準: 実習内容 80% (うち実習園からの評価 45%)、実習記録と総括レポート 20%。					
教科書: 幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説、実習テキスト。					
備考:					
実務経験の内容・期間: 幼稚園教諭(岡部智子、22年)					